

RS
UNDERCOAT

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

水性で臭気も少なく幅広い旧塗膜・基材へ
オールマイティーに対応します。

RS

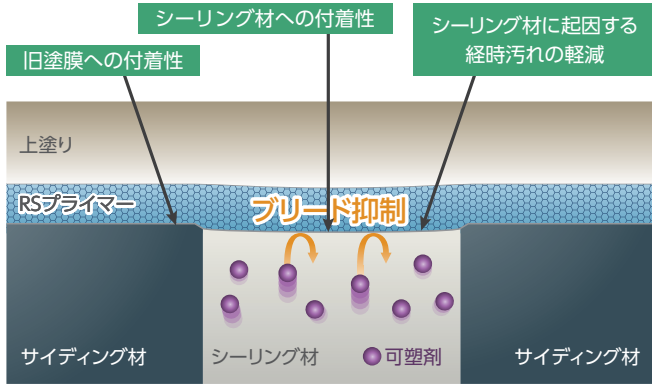
プライマー

オールマイティー水性エポキシプライマー

リフォーム
サミット店

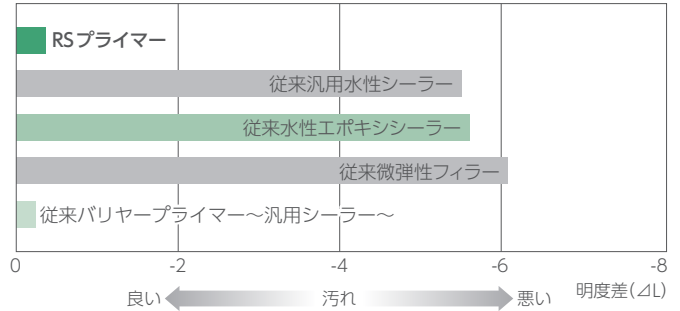
Supported by KANSAI PAINT

1 優れたシーリング適性



可塑剤ブリード抑制効果試験結果

屋外パクロ試験(東京パクロ6ヶ月)



※1 塗装仕様:変成シリコンシーリング材〜各種下塗材〜弱溶剤形ウレタン樹脂塗料
※2 シーリング材メーカーや種類、上塗材の種類によっては、結果が異なる場合があります。

2 長期耐久性

各種下地、旧塗膜との耐久性を向上させます。

■ 塗装条件

塗装方法	ローラー	ハケ	エアレススプレー
希釈率	0~10%	0~10%	10~15%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.13~0.20	0.13~0.20	0.17~0.20
希釈剤	上水	上水	上水

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

■ 塗装間隔

項目	温度		23℃
	最短	最長	
標準塗装間隔	最短		4時間*
	最長		7日
使用期限			4時間

※溶剤形塗料を上塗に用いる場合は16時間以上乾燥させてください。

■ 主な適用素材

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル

■ 荷姿

RSプライマー：15kgセット(ベース/硬化剤=12.5kg/2.5kg)

■ 色

白、半透明

施工上の注意事項

- ①ベース、硬化剤は正確に計量し、電動攪拌機を用いて、よくかき混ぜてから使用してください。
- ②液形塗料のためベース/硬化剤混合後、4時間以内で使用してください。夏場の場合は2時間程度で使用不可となります。
- ③低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)、降雨、降雪の予想される時は、施工を避けてください。
- ④劣化が大きい場合は、下塗りを1回増し塗りしてください。
- ⑤サイディングボードに既に反り、欠落、フシ、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。

- ⑥シーリング材とサイディングボードとの接合面に、剥がれ、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。
- ⑦軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は着熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリッパ・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄：本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施主への注意：本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
- 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。